

令和7年3月10日

新ひだか町
～住民健診に併せた歯援プログラム・歯周病リスク検査の実施～

北海道 新ひだか町 保健福祉部 健康推進課 保健指導係
渡辺 由江

自治体概要



- **人口**：21,517人
- **世帯数**：10,176世帯
- **面積**：1,146.55平方メートル
(令和2年10月1日現在 国勢調査数値)

～新ひだか町の特徴～

札幌から約130Kmに位置し、「涼夏少雪の里」として季節を問わず過ごしやすく太平洋と日高山脈にかこまれた自然豊かなまちである。昆布が有名な漁業・軽種馬生産や酪農・黒毛和牛・ブランド豚などの畜産、「太陽の瞳」の名称で親しまれているミニトマトやブランド米、花き生産など農業が盛んで、林業や加工業もあり、各種金融機関や商業施設が揃っており、三次産業従事者が多くを占めている。町内には、町立保育所1・民間幼稚園1・認定こども園1、小学校3、中学校3、高校2と保育・教育施設もそろっている。医療機関は、4病院・8診療所、10歯科医院、15調剤薬局あり、外来は約86%が町内受診でカバーされているが、町外を選択する場合は二次医療圏である隣町の日赤病院まで車で約1時間強かかるが医師不足による診療制限もある。

これまでの課題と取組

課題

住民の歯科口腔保健への関心が低く、壮年期層へのアプローチ機会が少ない。

取組

住民に向けて「お口の健康」の重要性の発信

お口の健康づくり「歯援プログラム」の実施

お口の健康

- お口の健康 18
- お口の健康 17
- お口の健康 16
- お口の健康 15
- お口の健康 14
- お口の健康 13
- お口の健康 12
- お口の健康 11
- お口の健康 10
- お口の健康 9
- お口の健康 8
- お口の健康 7
- お口の健康 6
- お口の健康 5
- お口の健康 4
- お口の健康 3
- お口の健康 2
- お口の健康 1

お口の健康 1

更新日：2023年4月24日

全身の健康はお口の健康から

全身の健康に影響する「歯周病」ってどんな病気？

・歯にこびりついた細菌の中に、むし歯の原因菌や歯周病の原因菌があります。その原因菌が歯と歯ぐきの隙間に入り込んで、歯ぐきにダメージを与え少しずつ歯を支える組織を破壊していきます。

歯周病の進行と症状



(1) 歯肉炎
歯ぐきの縁が部分的に腫れるが自覚症状はない。

(2) 軽度歯周炎
歯ぐきが赤く腫れ触るとぶよぶよする。

(3) 重度歯周炎
歯を支える組織が破壊され、最終的には、歯が抜け落ちる。

・歯周病の怖さは、歯を失うリスクが高いだけではありません。歯周病が体のさまざまな病気に影響していることがわかってきています。次回は、歯周病と全身の病気の関わりについてお伝えします。

【モデル事業に参加した背景】

壮年期への歯科保健事業として、住民検診時等に併せて、歯科衛生士による個別歯科相談を実施していたが指導による行動変容への動機付けと評価に課題があったことから、令和5年度モデル事業に参加

令和5年度の結果をふまえ次年度以降の事業化を検討することとなり、6年度のモデル事業への参加を希望した

住民の歯科口腔保健の関心を高め、歯周病予防の重要性を普及

健康増進法に基づく歯周疾患検診は実施していないが、
情報発信の注目度とモデル事業への参加をきっかけに歯周病リスクチェックを活用した歯科保健事業を実現した

モデル事業実施の流れ（簡易検査）

実施概要:

住民健診会場にて歯周病リスクチェックの回収

対象者:住民健診の参加者

対象人数:128名

実施日程:

2024年10月21日,22日

2024年11月17~19日

リスク検査実施者数:

98名（男性49名、女性49名）

実施率:76.6%

01

モデル事業参加 説明会・個別面談

6月~8月

- モデル事業に関する説明会に参加
- 歯科衛生と保健事業担当の管理職（保健師）が個別面談



02

関係者調整

8月

- モデル事業参加に向けて町とモデル事業実施事務局で実施の方法・内容・スケジュールを協議
- 総合町民センター/保健福祉センター会場ごとの当日の流れや役割分担について係内・健診委託事業者と協議



03

受診案内等準備

10~11月

- 歯周病リスクチェックの案内チラシ作成、周知
→10月21日,22日/
11月17~19日に実施する
住民健診の案内に簡易検査のチラシ、歯援プログラムの質問紙、歯周病リスク検査キットを同封

04

歯周病リスクチェック実施

10月、11月

- 10月21日,22日/11月17日~19日に総合町民センター/保健福祉センターにて実施（検体は自宅で採取の上で健診会場に持参。健診会場では検体回収と質問票の確認を保健師が実施し、簡易検査の結果は健診結果と合わせて送付）

06

保健指導とアンケート回収

12月~1月

- 歯周病リスクチェック実施者のうち必要者へ個別の実技指導、受診勧奨を実施
- 歯科健診の受診状況等は後日架電にて確認
- 事後アンケートの回収



気づいていないだけかも？

Q 大人の歯を失う原因の第1位は？

こたえは・・・
30代以上の4人に1人が歯周病の治療の遅れで後悔しています

今年集検日に検体を出すだけで歯周病リスク検査（2,000円相当）を無料で実施させていただきます！

皆さんに集検検診日に提出いただくもの

- 歯周病リスク検査の検体（事前に歯科検査キットで検体を採取してください。）
- 歯援プログラムの質問紙（事前に必要事項を記入してください。）

※歯周病リスク検査
古びた歯ブラシを交換し、歯周病リスク検査を試みます

全体の流れは裏面をご確認ください

配布チラシ（表）

配布チラシ（裏）

全体の流れ

- 検体採取と歯援プログラムの質問紙を記入して集検検診受診日に提出
集検検診受診日の起床直後に歯周病リスク検査の検体を採取し、記入した歯援プログラムの質問紙と一緒に集検検診会場にご提出ください。
（歯周病リスク検査キットは忘れずに集検検診にお持ちください）
結果は後日、集検検診の結果と一緒に送付いたします。
- 参加後アンケート
結果返却から約1か月後、日々のお口のケア等の簡単なアンケートをお送りします。ご回答をお願いします。

30代以上の3人に2人は歯周病！
進行する前に歯科医院に行こう！

歯周病と関係のある様々な病気	歯周病は予防・改善が可能です
- 糖尿病 - 認知症 - 脳梗塞 - 心臓病 - 呼吸性肺炎 - 骨粗しょう症 - 関節リウマチ - 低体重児出産 - 早産	- セルフケアとプロケア - 歯磨き - 歯間ブラシ - フロス - 歯磨き指導 - 歯石除去 - フッ素塗布

▼歯周病リスク検査の事業参加について
厚生労働省「取組世代の歯科健康診査推進事業」
歯科健康診査推進事務局（NITDA）に電話相談
TEL: 03-5325-4091
E: support@nitda-nitdpp.com
（休 10:00~17:00 祝日も可）

▼お近くの歯科医院を捜して予約してみよう！
全国の歯科医院

モデル事業実施における準備と工夫

事前準備		当日	事後	
実施事項の整理	周知・募集	当日	結果の返却・活用	
準備と工夫	既存事業の活用 既存事業として、実施していた歯科口腔保健に関する質問紙に加えて、歯周病リスク検査キットを併用することにより、住民の行動変容・意識変容につながると考え、既存事業を活用してモデル事業を実施することとした。	複数の媒体を使用 - 住民健診の対象者全員を歯周病リスクチェックの対象とした - 住民健診の案内と合わせて啓発チラシ、歯援プログラムの質問紙、歯周病リスク検査キットを送付（1週間前） - ウェブサイトへ掲載（2か月前） - 広報誌へ掲載（3週間前）	検体の回収 - 住民健診の受付時に歯周病リスクチェックの検体を回収 - 保健師による特定健診問診時に質問紙記載を確認 - 歯周病リスクチェックを希望しない方には、後日未使用キットを保健福祉センターに持参するように依頼 - 再来所による持参が難しい方には返送用封筒を手渡し	結果の返却・活用① - 結果は健診結果と合わせて送付 - 歯援プログラムの質問紙の内容や歯周病リスクチェックの結果に併せた普及啓発媒体の送付 - 支援対象者※の歯科保健指導にも活用
	自治体事業として実施 - モデル事業の事前アンケートを「歯援プログラムの質問紙」とし、追加質問を用意 - 事後アンケートの回答率を向上させるために送付用封筒と返送用封筒は自治体の封筒を使用			事後アンケート 事後アンケートは自治体にて回収
				結果の活用② 歯援プログラムの質問紙、歯周病リスクチェックの結果、事後アンケートを基に、自治体での事業化説明資料を作成

※支援対象者は従来から実施の「歯援プログラム」による選定（詳細P9）と歯周病リスクチェック（アドチェック）判定から選定

モデル事業実施における準備と工夫（参考資料）

案内チラシ

気づいていないだけかも？

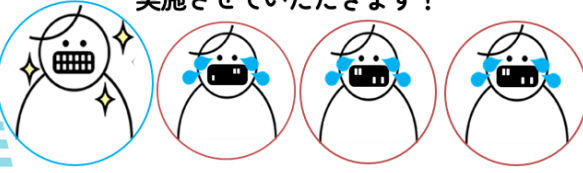
Q 大人の歯を失う原因の第1位は？

こたえは・・・

30代以上の
4人に1人が
歯周病の治療の遅れで
後悔しています

自宅で簡単採取

今年は集団検診日に検体を出すだけで
歯周病リスク検査（2,000円相当）を**無料**で
実施させていただきます！



皆さんに集団検診受診日に提出いただくもの

- ① 歯周病リスク検査の検体
(事前に歯科検査キットで検体を採取してください。)
- ② 歯援プログラムの質問紙
(事前に必要事項を記入してください。)

※歯周病リスク検査
舌拭い用スポンジ
ブラシで舌全体を
拭きます

全体の流れは裏面をご確認ください

保健師による問診時に対面にて回収を依頼する（ほぼ100%回収）

全体の流れ

- 1 検体採取と歯援プログラムの質問紙を記入して集団検診受診日に提出
集団検診受診日の起床直後に歯周病リスク検査の検体を採取し、記入した歯援プログラムの質問紙と一緒に集団検診会場にご提出ください。
(歯周病リスク検査キットは忘れずに集団検診にお持ちください)
結果は後日、集団検診の結果と一緒にお渡しします。
- 2 参加後アンケート
結果返却から約1か月後に、日々のお口のケア等の簡単なアンケートをお送りします。ご回答をお願いします。

30代以上の3人に2人は歯周病／
進行する前に歯科医院に行こう！

歯周病と関係のある様々な病気

- 糖尿病 ●肥満 ●脳梗塞
- 認知症 ●心臓病
- 誤嚥性肺炎
- 骨粗しょう症
- 関節リウマチ
- 低体重児出産
- 早産

歯周病は予防・改善が可能です

セルフケアと歯科医院での「プロケア」で予防・改善をしましょう

セルフケア

- ・歯磨き
- ・歯間ブラシ
- ・フロス

プロケア

- ・歯磨き指導
- ・歯石除去
- ・フッ素塗布

▼歯周病リスク検査の事業参加について

厚生労働省「就労世代の歯科健康診査等推進事業」
歯科健康診査推進事務局
(NTTデータ経営研究所)
dental-support@nttdatala-strategy.com
03-5213-4091
{月・金 10:00-17:00 (祝日を除く)} 1

▼お近くの歯科医院を探索して予約してみましょう！

全国の歯医者さん

歯援プログラムの質問紙

モデル事業で活用していた
共通のアンケートの名称を変更

【歯援プログラムの質問紙】

日本人の歯を失う原因は、歯周病が最も多く、歯周病とも言われています。
歯周病は痛みなく進行するため、気が付いた時には、重症化していることもあります。
この検査は、歯周病等のリスクを手軽にチェックできます。
歯周病は予防・改善が可能です。歯周病等のリスクをチェックして歯周病を予防しましょう！

- 今回実施する簡易な歯科検査は、新ひだか町と連携して、厚生労働省「就労世代の歯科健康診査等推進事業」に係る調査研究等の一環として行います。
- 簡易な歯科検査の結果、歯援プログラムの質問紙及び実施後にお願いする事後評価シートは、今後の歯と口の健康づくりのために本調査研究および自治体にて活用させていただきます。
- この質問紙と歯科検査キットは集団検診会場で回収しますので、忘れずにお持ちください。
- 集計や分析等に際し、個人を特定できる情報を公開することはありません。上記に同意の上、以下にご回答願います。

選択式の場合は○を塗りつぶしてください。(例 ○→●)

記入日	2024 年 月 日		
氏名	カナ (姓)	(名)	
性別	○1.男性 ○2.女性	年齢	歳
郵便番号	—		都道府県 北海道
住所	日高郡 新ひだか市 区 町 村		
職業	○1.会社員・公務員 ○2.自営業者 ○3.大学生・大学院生 ○4.パート・アルバイト ○5.無職 ○6.専業主婦 ○7.その他		

＜ご自身の状況についてお聞いします＞ 選択肢の○を塗りつぶしてください。(例 ○→●)

Q1: 過去1年以内の歯科医院の受診状況を教えてください。

○1. 歯科受診した(予約済含む) → Q2: 歯科医院を受診・予約した目的を教えてください。(複数回答可)
○2. 歯科受診していない

○1. 歯科健診・定期メンテナンス

○2. 治療 (むし歯や歯周病等)

○3. その他

(裏面に続きます)

モデル事業実施における準備と工夫（参考資料）

歯援プログラムの質問紙の追加設問

Q9：かかりつけの歯科医院はありますか。

- 1.はい ○2.いいえ

Q10：間食（甘い食べ物や飲み物）をしますか。

- 1.いいえ ○2.ときどき ○3.いつも

Q11：年に1回以上は歯科医院で定期健診を受けていますか。

- 1.はい ○2.いいえ

Q12：ご自分の歯は何本ありますか

（かぶせた歯（銀歯）、さし歯、根だけ残っている歯も含みます）

- 1.20本以上 ○2.19本以下 ○3.わからない

Q13：義歯（入れ歯）を着用していますか。

- 1.いいえ ○2.はい

上顎（総入れ歯・部分入れ歯）、下顎（総入れ歯・部分入れ歯）

■ 以上で終了です。 ■

生涯自分の歯で食事を楽しみ、健康に過ごすため
歯周病を早期発見・予防しましょう



お疲れさまです。

ウェブサイト・広報誌の掲載内容

＜住民検診＞

検診項目	日程・時間	対象年齢
胃・肺・大腸がん検診、 肝炎ウイルス検診、 エギノコックス症検診、 特定健診・後期健診、 前立腺がん検診、ピロリ菌検査	6/11(火)～6/12(水) 11/17(金)～11/19(日) 2/1(土) 7時～11時	6/20(火) 11/19(日)
肺がんCT、 内臓脂肪検診	8/24(土)～8/25(日) 2/14(金)～2/15(土) 8時半～11時 12時半～13時半	
頸部がん検診、経膈超音波検査、 HPV検査、マンモグラフィ、 乳房超音波検査、大腸がん検診	10/11(金)～10/12(土) 7時～10時	12/1(土) 9時～10時半 12時半～13時

保健福祉センター
総合市民センター

グループで特定健診を受ける方限定！
歯援プログラムの対象です。
質問紙に答えるだけであなたのお口の状態にあったアドバイスが健診結果と一緒に届きます。

パターン2： 無料送迎バス検診（対がん協会）

オプション 充実！

お口の健康 番外編

更新日：年月日

11月8日は「いい歯の日」！！

令和5年（2023年）11月8日(水)から11月14日(火)まで北海道・口腔の健康づくり8020推進推進です。80歳で歯を20本以上維持することを目的とした取り組みです。みなさん、自分の歯、何本あるか知っていますか？自分の歯で美味しい物食べたいですね。

Q 歯を失う原因は？

アドチェック

今年から集団検診で特定健診を申し込んだ方へ「歯援プログラム」を実施しています。○歯医の方定さらに、11月の集団検診は特別に歯周病検査キットが無料でついています！
自分の体の健康状態とお口の健康状態を1年に1回確認しておこう。

前回のお話は歯をクリック

モデル事業実施の流れ（案内から結果返却までの詳細）



年代別検査結果内訳

	A リスク低	B リスク中	C リスク高	測定不可	総計
20代	0	0	0	0	0
30代	3	1	0	0	4
40代	9	6	2	0	17
50代	6	4	4	0	14
60代	13	14	13	1	41
70代	6	7	9	0	22
総計	37	32	28	1	98

当日の写真



結果返却時の配布物

※日本歯科医師会による「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」専用無償ソフトにより集計・結果判定し指導対象を選定

歯科保健指導の対象と説明内容

歯援プログラム 結果発表

集団検診で歯援プログラム質問紙に回答いただいた結果

「**歯科受診**」が必要となりました。

まずは、かかりつけ歯科医師にご相談ください。
 かりつけ歯科医師がいない場合⇒町内の歯科医師は下記のとおりです。診療日・受付時間などについて歯科医師に直接問合せのと、早めに受診しましょう。

歯科医院名	住所	電話番号
山口歯科医院	静内御幸町3-1-72	42-1486
中村歯科クリニック	静内御幸町1-3-2	43-3011
東静内歯科診療所	東静内106	44-2240
田中歯科医院	静内緑町1-2-13	43-3434
アムール歯科医院	静内山手町4-2-2	42-2116
ささじま歯科医院	静内高砂町3-9-91	42-1471
平野歯科医院	静内ときわ町2-2-16	42-5022
静内ファミリー歯科	静内木場町1-1-86	42-4441
渡川歯科	三石旭町275	33-2010
ふなき歯科	三石本町107-1	32-3301

さんの

「**受診の結果**」を電話で確認させていただきます。

問合せ：新ひだか町 健康推進課（保健福祉センター内） 42-1287

・歯周病リスク中の方：53名に対し、
対面：22名、電話31名へ歯科保健指導を実施

- ・歯周病リスク高の方：30名に対し、
対面：4名、電話26名へ受診勧奨指導を実施

※指導対象はアドチェックによる簡易な歯科検査と左記の歯援プログラムの結果により自治体で総合的に歯周病リスクを判断し選定したもの

【指導のポイント】

- ・自覚症状有無とリスク検査による結果の相違から客観的確認の必要性を説明し、定期検査の動機づけを図る
- ・補助清掃用具を用いたセルフケアの実技指導（対面）及び、かかりつけ歯科によるプロケアを勧奨

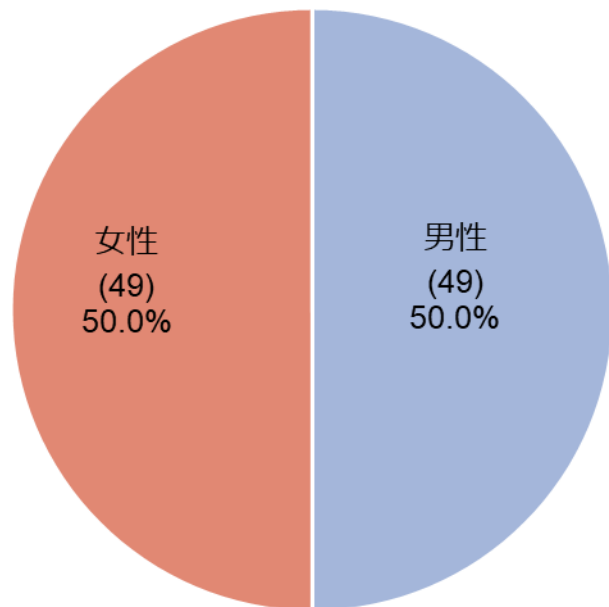
※町内歯科医院の情報を提供

実施結果：参加者の属性

- 参加者の性別は、男性と女性の割合がちょうど半分であった。
- 参加者の年齢構成は、60歳代が最も多く、次いで70歳代が多かった。

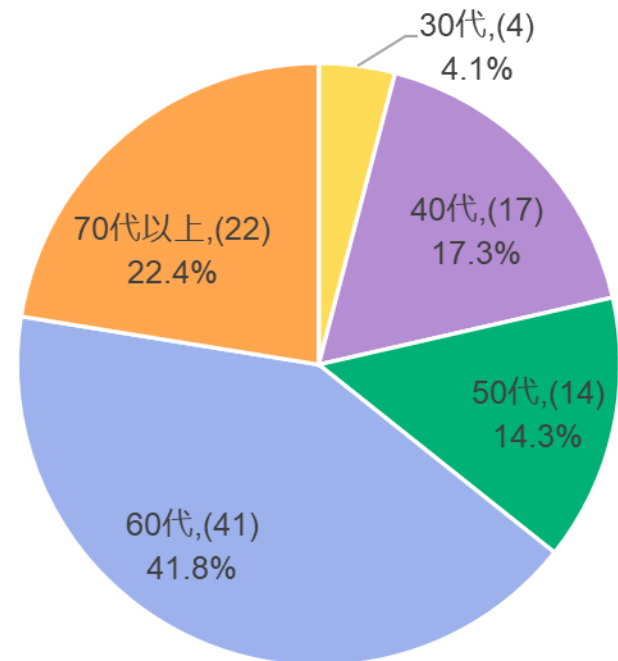
モデル事業参加者の性別

n=98



モデル事業参加者の年齢構成

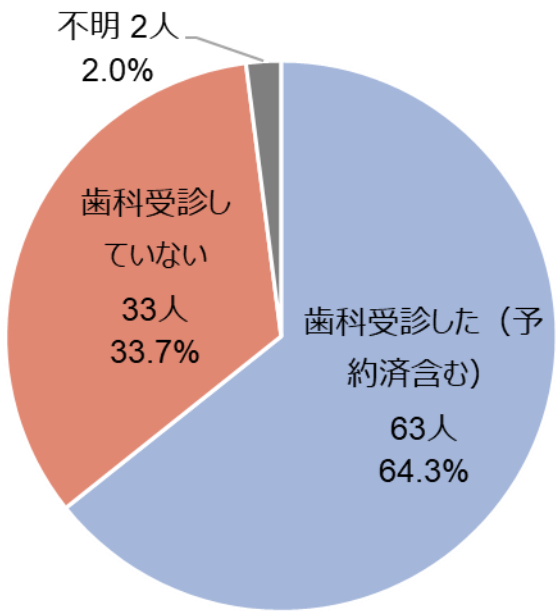
n= 98



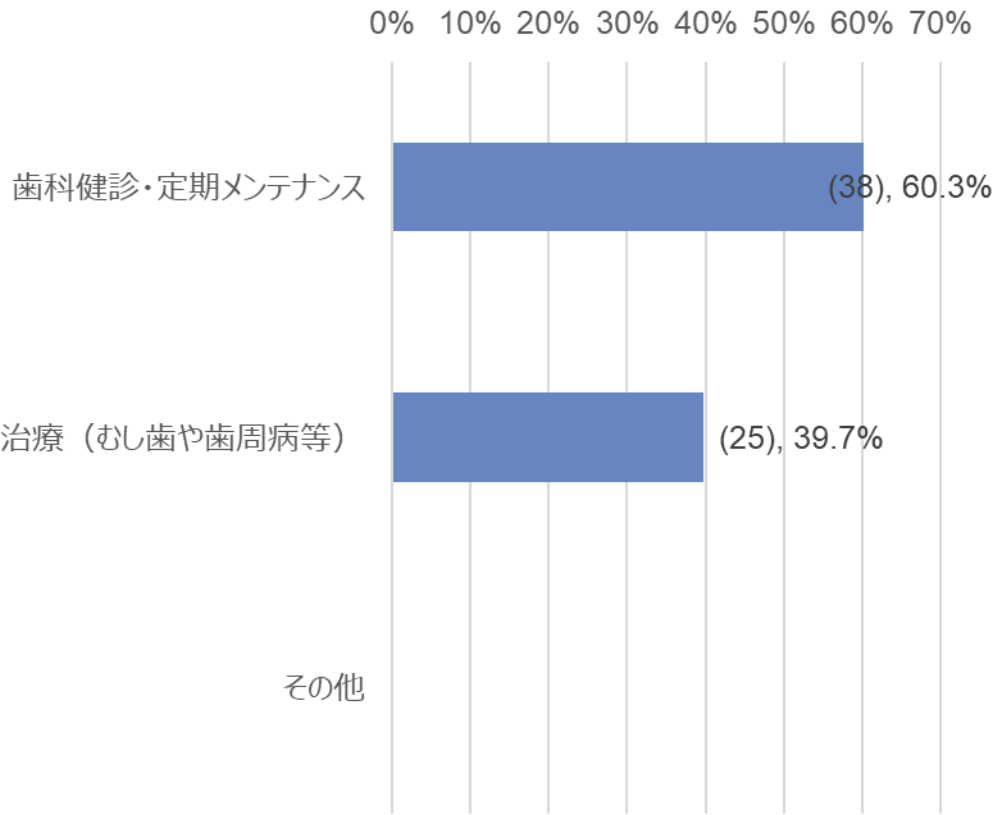
実施結果：歯周病リスクチェック実施前の参加者の歯科受診状況

- 歯周病リスクチェックの実施前の過去1年の歯科受診率は、64.3%であった。また、その受診理由は、60.3%が歯科健診・定期メンテナンスであった。

歯周病リスクチェック実施前
過去1年間の歯科受診率 n=98



歯周病リスクチェック実施前
過去1年間の歯科受診目的 n=63



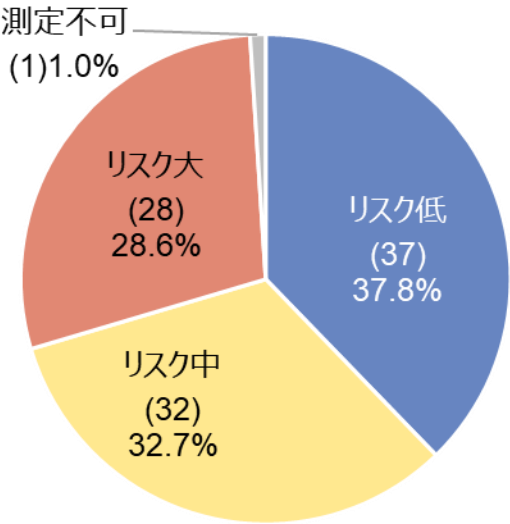
実施結果：歯周病リスクチェックの結果

- 歯周病リスクチェックの結果歯周病の「リスク大・中」の参加者のうち、無回答を除くと70%以上の割合で既に歯科受診したか、今後受診するつもりである状況であった。

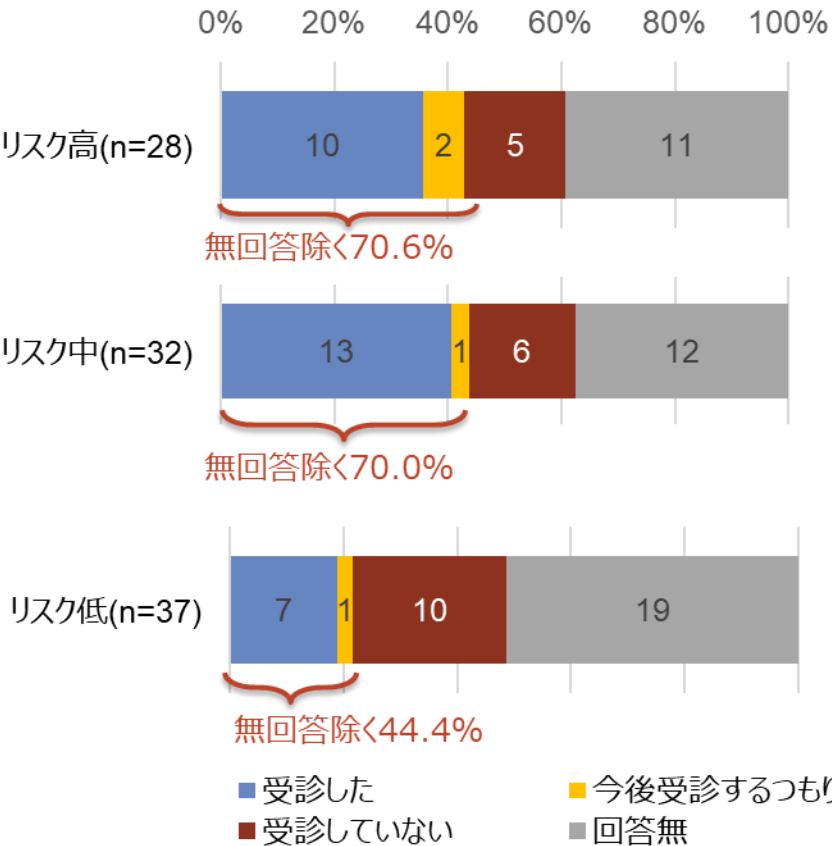
..... 歯周病リスクチェックの結果とその後の歯科受診状況

歯周病リスクチェックの結果

n=98



歯周病リスクチェックの結果別歯科受診状況



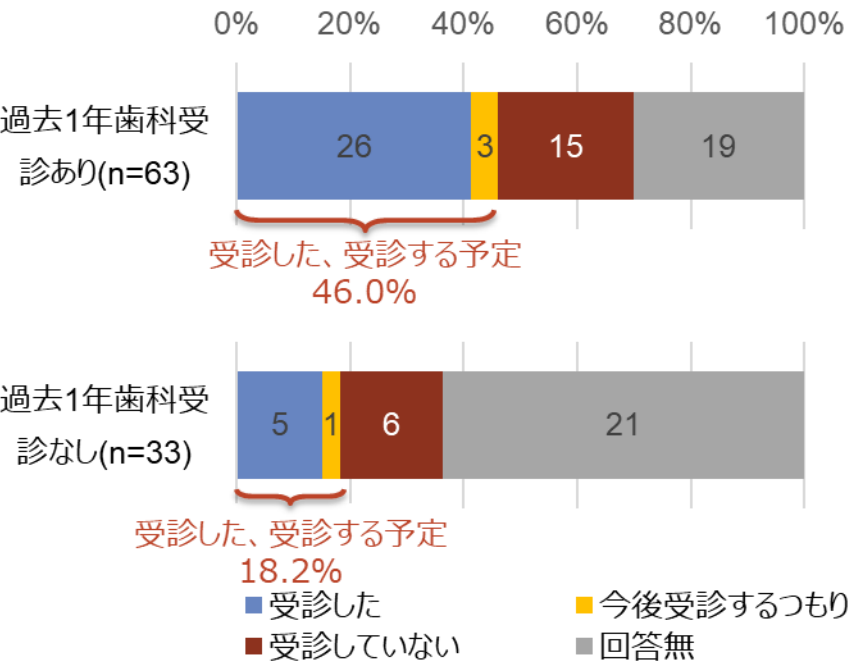
• アドチェック：A, B, Cの判定をそれぞれリスク低, 中, 高とした

実施結果：歯周病リスクチェック実施後の歯科受診状況

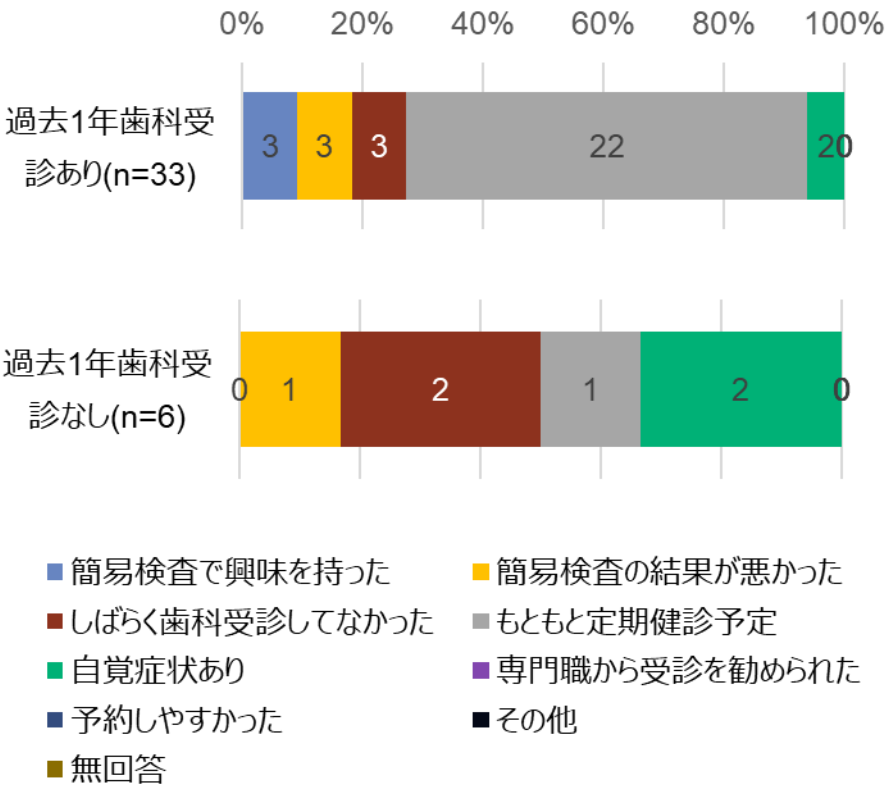
- 過去1年の歯科受診がある者の46.0%が歯周病リスクチェック実施後「歯科受診した」もしくは「今後受診するつもり」であった。過去1年歯科未受診者は18.2%が歯周病リスクチェック実施後「歯科受診した」もしくは「今後受診するつもり」であった。
- 過去1年歯科未受診者が歯科受診する理由は「しばらく歯科受診していなかった」や「自覚症状あり」、歯周病リスクチェックの結果により歯科受診をした方もいた。

過去1年の歯科受診状況とその受診理由

過去1年の歯科受診状況別の歯科受診状況

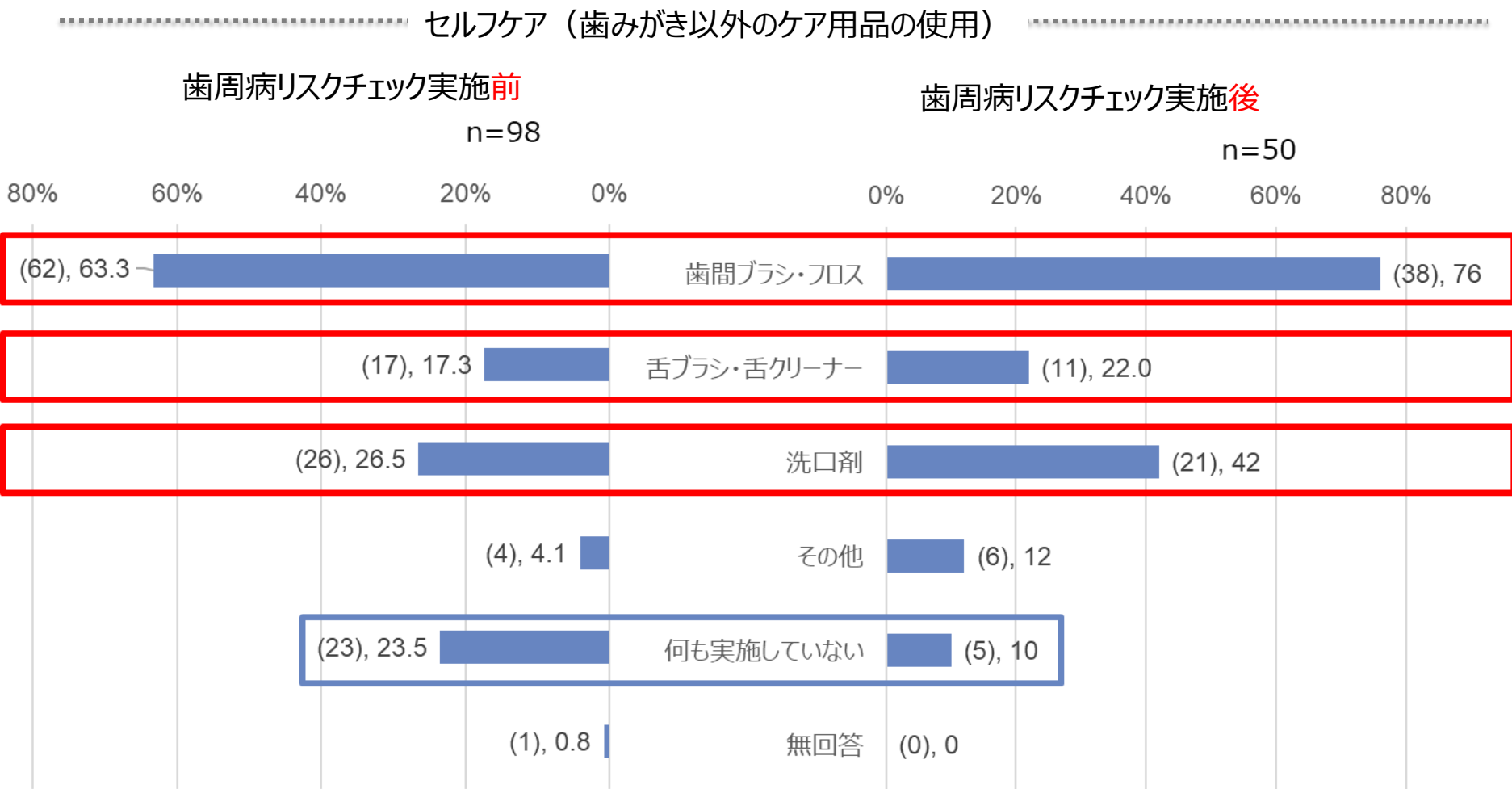


歯科受診理由



実施結果：歯周病リスクチェック実施前後の歯みがき以外のケア状況

- セルフケアの実施状況（歯磨き以外のケア用品の使用）は「歯ブラシ・フロス」や「洗口剤」を使用している割合は5ポイント以上増加した。また、「何も実施していない」割合は13.5ポイント減少した。



実施結果：歯周病リスクチェックをきっかけとした変化

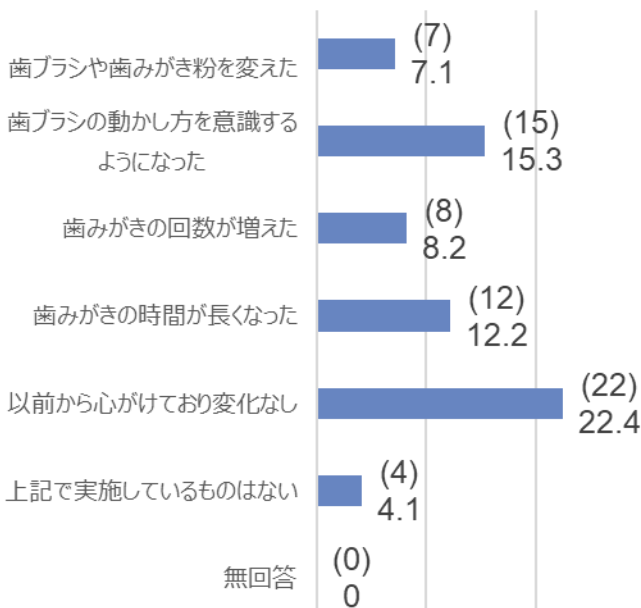
- 歯周病リスクチェックの実施によるセルフケア・知識・意識の変化として、歯周病リスクチェックをきっかけに知ったこととして、多くの方に新たな気づきを与えることができた。
- 上記知識の変化に加えて、「歯科医院の受診」の意識の変化が見られた。

セルフケア・意識・知識の変化

歯周病リスクチェックの 歯みがきでの心がけ

n=50

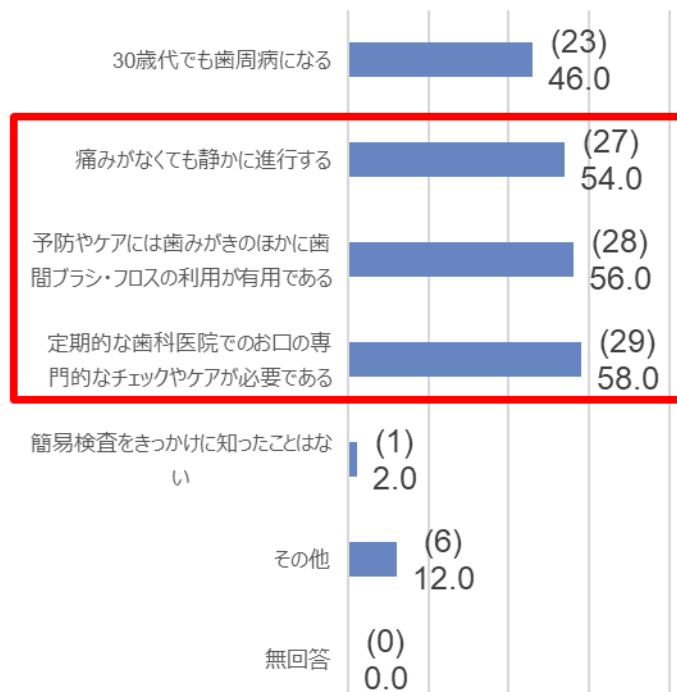
0% 10% 20% 30%



歯周病リスクチェックをきっかけに 知ったこと

n=50

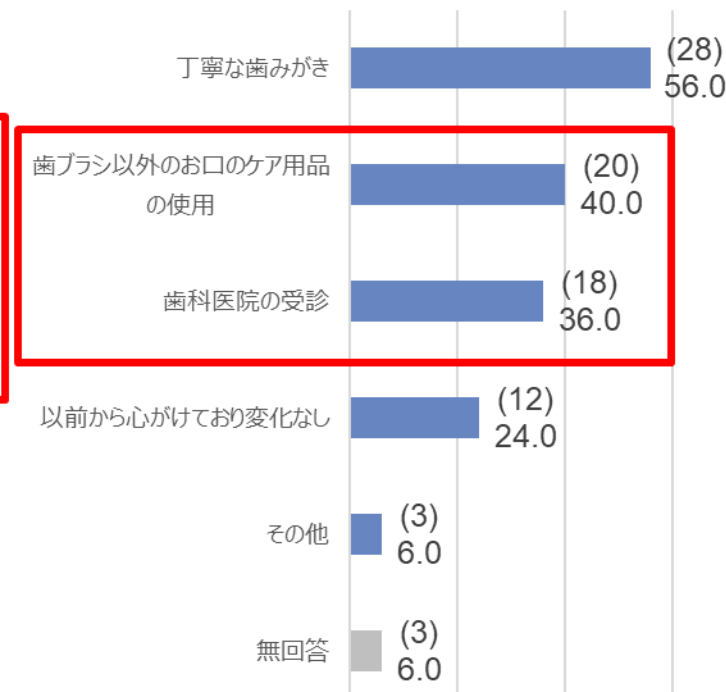
0% 20% 40% 60% 80%



歯周病リスクチェック実施後の お口のケアに関する意識

n=50

0% 20% 40% 60%



モデル事業を通しての成果と課題

＜成果＞

・ 実運用の実施

- 昨年度は秋の住民健診受診者を対象にモデル事業へ参加し歯周病リスクチェックを実施することで、歯科受診への動機づけやセルフケア実技指導の実施率の向上を確認する事ができた。そのため効果的な歯科保健指導の手法として自治体独自に予算を計上し、今年度は春の住民健診にて、歯周病リスクチェックを導入した。今年度のモデル事業を活用できたことで、秋の住民健診時にも歯周病リスクチェックをすることができ、継続受診者への指導に活用することができた。

・ 予算化に至るまでの経緯と工夫

- 従来からの歯科保健指導時の聞き取りなどにより痛みが無いと歯科受診はしないとの傾向があったが、厚生労働省が掲げている「国民皆歯科健診」の動向が不透明で事業の方向性が定まらなかった。
- 歯科医師による歯科健診は歯科医師不足の中、調整が困難であるが歯周病リスクチェックは健診に併せて実施が容易であり、受診者の心理的負担も少なく導入へのハードルが低いことが確認できた。
- モデル事業の結果、自己申告による口腔内自覚症状とリスク判定の相違が明らかで精度の高い受診勧奨対象の抽出が可能であることを係内で共有した。
- さらに、リスク判定結果を用いた指導では、受診行動への動機づけがされることから住民の歯科口腔保健に対する意識の向上を目的とした事業として効果的であることから実施に向けた予算化に至った。
- 予算化にあたり、当町では特定健診に併せ国民健康保険加入者を対象としていたことから、国庫補助金を活用できることが継続実施への強みとなった。

• 補助金活用の概要

- 名 称：国民健康保険保険者努力支援交付金（国保ヘルスアップ事業）
- 補 助 率：10/10
- 事業区分：「生活習慣病対策」のうち、「その他生活習慣病対策」
- スケジュール 5月：事業計画提出
6～9月：調整
2月：交付採択通知
3月：実績報告

※補助金の採択を待たずに年度当初から事業に取り組むため、前年度に予算化作業し町新年度予算へ計上

• 歯周病リスクチェックの実施による効果（住民の声）

- 検体を採取するのは手間ではなかった（簡単だった）。
- 自分では綺麗に磨いているつもりだったから、リスクが高いとは思わなかった。
- 痛みは無いけど、受診してみます。

（歯科衛生士の声）

※対面による実技指導や架電による受診勧奨の根拠となり支援がスムーズになった。

<課題と今後の展望>

- 継続受診者の指導効果判定や、歯科受診率の向上評価を行い、事業継続の根拠とする。

ご清聴ありがとうございました。